



アーゲン Z ジルコニア 臨床症例集

ARGEN Z
Zirconia Clinical Case Collection

IOS を使用したボーンアンカードブリッジ適応症例

患者主訴：義歯が合わず、インプラント治療を希望で来院。

治療計画：残存歯を全て抜歯して仮義歯を製作。それを基にサージカルガイド、インプラント埋入、プロビジョナル、IOS にてファイナルの治療計画とされた。

下記のステップにて症例を完成させた。



① 初診



② IOS 撮影



③ CAD デザイン



④ アーゲン Z HT+マルチレイヤーを加工。シンタリングリキッド塗布、適合良好。



⑤ 歯冠はサーフェイスステイン・歯肉はオリジナルレイヤリングで完成させた。



⑥ ファイナルセット。

画像出典：中島 清史. MASTERPIECE CAD/CAM とハンドメイドの融合. QDT 2023; 48(9): 2-9.

有限会社 KN デンタルラボラトリー

茨城県日立市

代表取締役 中島 清史

アーゲン Z HT+マルチレイヤーを用いたフルマウススクリーリテイン症例

本症例は上顎無歯顎症例にインプラントを8本埋入し、マルチプルタイプアバットメント上にプロビジョナルを装着して咬合の安定と審美と機能を煮詰めた。その後モノリシックジルコニアによる最終上部構造を製作した口腔内スキャナーを用いて、アバットメントが装着された歯肉スキャンデータ、スキャンボディが装着されたデータ、それにプロビジョナルデータと対合歯データを採得し、設計は3Shape DentalSystemで行った。



このようなロングスパンで歯冠長の長いケースとなると、焼成後の歪が起らないようなものを選ばなければならない。さらに、審美面からもマルチレイヤーが望ましい。

HT+ マルチレイヤーはマルチレイヤーでありながらすべての層において同一強度の 1,250MPa であることからロングスパンブリッジに対応し、エナメル層～ボディ層～サービカル層と滑らかなグラデーションを有し、ディスク厚みも 30mm までラインナップされている。



ミリング加工後、マルチレイヤージルコニアディスク本来のポテンシャルを失わない為にもシンタリング前のカラーリングリキッドは歯肉部と歯頸部から歯間部にわずかに塗布するに留めておく。シンタリング後、歯冠部、歯肉部ともにステイニングで色調を整えてからインデックス模型上でチタンベースと接着を行い完成させた。現在の補綴マテリアルの主流はジルコニアであり、特に無歯顎症例のインプラ

ント補綴設計には強度と審美を兼ね備えたジルコニアディスクが必須であることから今回使用した HT+ マルチレイヤーは非常に適していたと考えられる。



dental BIOVISION 株式会社 辻 貴裕



PFZ (initial zr-Fs+アーゲン Z HT+マルチレイヤー OM-3)

選択基準：強度・・・マルチレイヤーのディスクであるが強度は統一であることから選択。

色調・・・ホワイトニングに対応するディスクが3種類ラインアップされている為、汎用性があると感じている。



CURA ESTHETIC DENTAL CENTER

鬼頭 寛之

アーゲン Z HT+マルチレイヤーを使用したレイヤリング症例



使用ジルコニア：

HT+マルチレイヤー

前歯部 11, 21, 22 の審美障害を修復。

バイトが緊密なため、強度があり透光性も高い
4Y ジルコニアの HT+マルチレイヤーを使用し
レイヤリング。



Leap Ceramic Arts Co.,Ltd.

伊藤 竜馬

高透過率ジルコニアインレー色調の調和

【CASE1】

製作部位：左下6

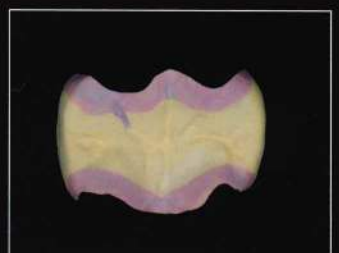
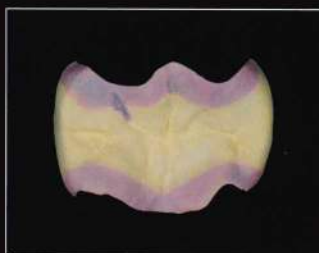
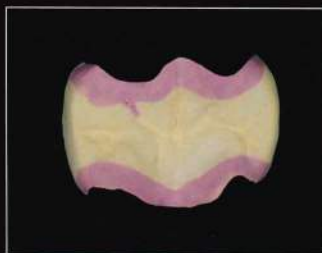
使用材料：ジルコニア アーゲンZ アンテリオ #5

カラーリキッド Luxen CL (ジオメディ社)

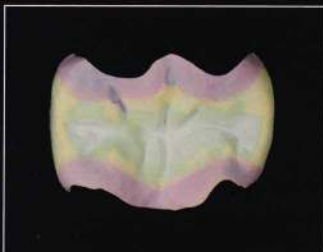
担当歯科医師：塚本真啓 先生 (たけなが歯科クリニック)

症例：患者は女性でありシェードテイクにて A3.5 と判断し
ジルコニアインレーにて作製。EXOCAD にてデザイ
ンシリングマシンにて加工後、色調再現の為アン
テリオ(ジルコニア)に Luxen CL を用いた。

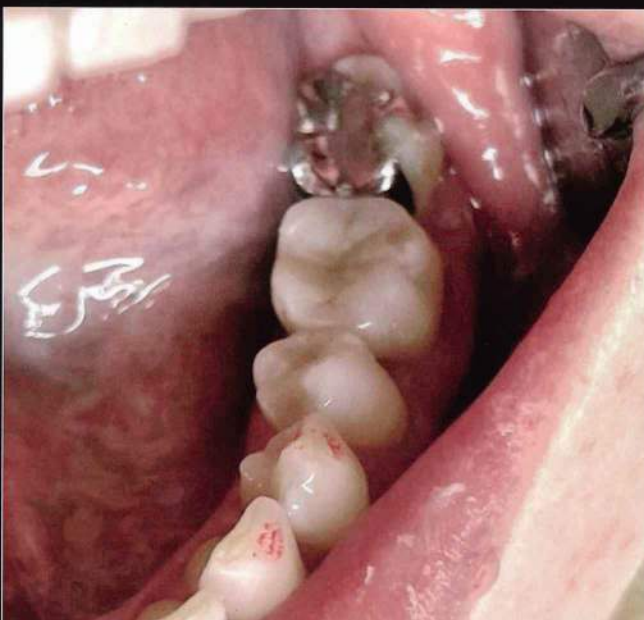
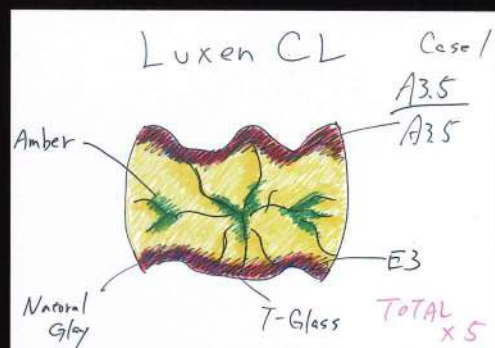
下記に手順を示す。



全体に A3.5 を塗布 (内面も) しドライヤーにて乾燥。マージン部に E3 を 1 回塗布 (内面も) 後、E3 と重なるように T-GLASS を 1 回塗布 (内面も)。E3 と T-GLASS に重なるように Natural Glay を 3 回塗布 (内面も)。



窩の所に Amber を少量塗布。シンタリング後グレースペー
ストを塗布し完成。



アンテリオは全 VITA クラシカルシェードに対応
しており、その表記を #1～6 と記述していて、透過
率は 50%・曲げ強さも 765MPa である為、審美性
を求められる前歯部やインレーの修復に適してい
ると考える。

有限会社 ファインデンタルラボラトリー
デジタル部門統括責任者
岩崎 直紀

アーゲン Z HT+マルチレイヤーを使用した上顎 14 ユニットインプラント上部構造の症例



症例：60 代 男性 上顎インプラント上部構造 14 ユニット

使用材料：フレーム：HT+ マルチレイヤー Zirconia 陶材：クラレノリタケ CZR

フェイシャルカットバックを行った HT+マルチレイヤーフレームに陶材を築盛し形態修正後、完成。



a-1)



a-2)



b-1)



b-2)



c-1)



c-2)

a-1), b-1), c-1)：スキャン前のレジンフレーム

a-2), b-2), c-2)：ミリング後のジルコニアフレーム

加工精度が非常に良く、安定したミリング、製作者の意図する形態を忠実に再現可能である。

レジン、ジルコニア双方のフレームを比較して、非常に薄くなっている歯肉貫通部、歯間部など細部に至るところまでミリング時に心配されるチッピングなどは一切見られない。（使用加工機：X-Mill 500Plus）

d)：前歯部拡大写真

切縁ぎりぎりまでのフレームデザインでありながら違和感のない色調再現が可能である。これによりチッピングのトラブルを避けられると共に求められる審美的要求にも対応が可能である。



d)



HT+マルチレイヤーは陶材築盛を選択する症例に対して前歯部審美修復から今回のようなインプラント上部構造のフルマウスまで幅広く用いることができる。適度な透過率も有しており、彩度を高めながら多様な色の表現をする状況においても、明度を保ち製作を進めていくことができる。

これらの事から審美と強度を両立しバランスの取れた理想的なジルコニアディスクと言える。

株式会社 PREF 時雨正和

アーゲン Z HT+マルチレイヤーA1 を使用した臨床例



単一強度のため単冠からフルのケースまで



One Disc で OK



株式会社 La cima JAPAN
平塚 敏隆

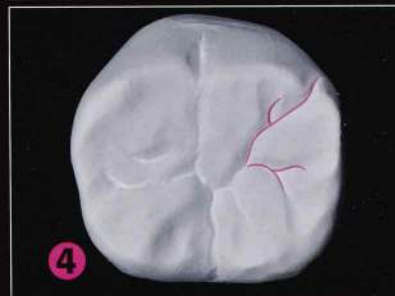
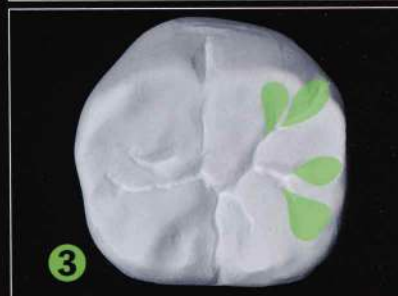
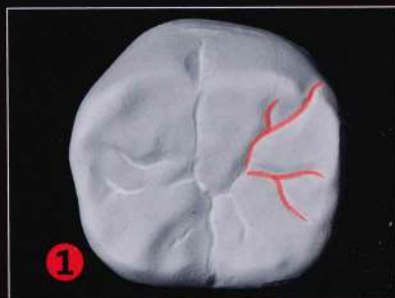
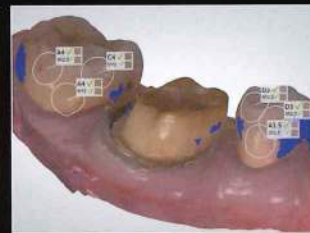
ペイント番長が自分の口腔内に入りたいジルコニア(アーゲン Z HT+)

歯科医師：Dr. Derek Hopkins

歯科助手：Irving Peniche

患者 & 製作者：横田浩史

(ペイント番長)



① フィッシャーバー (三角錐) ② ダイヤモンドバー (ラウンド) ③ プレシンター ポリッシャー ④ フィッシャーバー (ノンエッジ) ⑤ 軟性ディスク (ハリケーン)



カラーリング



シンタリング後



ステイニング後



グレース&研磨後



Signature Dental Lab Victoria, Canada

【アーゲン Z ジルコニア製品ラインアップ比較表】

製 品			HT+マルチレイヤー	STマルチレイヤー	HT+	アンテリオ	ウルトラ
							
組成			4Y	5Y	4Y	5Y	3Y
積層			マルチ	マルチ	単色	単色	単色
透過率(%)			45	50	45	50	30
曲げ強度(MPa)			1,250	850	1,250	765	1,400
熱膨張係数(25-500℃)			$10.3 \times 10^{-6} K^{-1}$	$10.3 \times 10^{-6} K^{-1}$	$10.3 \times 10^{-6} K^{-1}$	$10.0 \times 10^{-6} K^{-1}$	$10.4 \times 10^{-6} K^{-1}$
シンタリング スケジュール ※ロングスパンブリッジ スケジュールに 関しては問い合せ ください。	1(昇温)	温度(℃)	900	900	900	900	900
		ヒートレート(℃/分)	10	10	10	7	7
	2(昇温)	温度(℃)	1,510	1,500	1,510	1,450	1,550
		ヒートレート(℃/分)	7	7	7	10	10
	3(係留)	時間(分)	120	120	120	120	120
	4(降温)	温度(℃)	1,000	1,000	1,000	200	900
		ヒートレート(℃/分)	7	7	7	6	7
	5(降温)	温度(℃)	200	200	200	—	200
		ヒートレート(℃/分)	10	10	10	—	10
サイズ ※HT+マルチレイヤー 12, 14, 16, 18mmは ライトシェードの取り 扱いはございません。 ※HT+の95mmはA1 Light, A2 Lightの取 扱いはございませ ん。 ※アンテリオの95mm は厚さ16mmの取り 扱いはございません。	φ	95mm	—	—	●	●	●
		98mm	●	●	●	●	●
	厚さ	10mm	—	—	●	●	●
		12mm	●	●	●	●	●
		14mm	●	●	●	●	●
		16mm	●	●	●	●	●
		18mm	●	●	●	●	●
		20mm	●	●	●	●	●
		22mm	—	—	●	—	●
		25mm	●	—	●	●	●
		30mm	●	—	●	—	—
シェード	VITAクラシカルシェード		16シェード	16シェード	16シェード	16シェード	—
	ブリーチングシェード		3シェード	3シェード	3シェード	—	—
	ライトシェード		5シェード	—	2シェード	—	—
	White		—	—	●	●	●
推奨用途	インレー・アンレー		●	●	●	●	●
	ラミネートベニア		●	●	●	●	●
	前歯クラウン		●	●	●	●	●
	前歯ブリッジ(3本)		●	●	●	●	●
	臼歯クラウン		●	●	●	●	●
	臼歯ブリッジ(3本)		●	●	●	●	●
	ロングスパンブリッジ		●	—	●	—	●



お問い合わせ先(製造販売元)

株式会社スマートブラクティスジャパン

本社

〒242-0017 神奈川県大和市大和東2-2-13 アサヒヤマトビル2階
TEL:046-200-5615 FAX:046-401-1737

テクニカルサービス・ラボ

フリーコール:0120-952-319 FAX:0120-952-365
受付時間/9:00~17:30 休日/土・日・祝日

※掲載製品の仕様・包装は予告なく変更されることがございます。また、製品画像の色彩等が現物と異なることがございます。あらかじめご了承ください。

※本カタログ掲載内容及び画像の無断転載はかたくお断りします。 ※「VITA」は、VITA Zahnfabrik社の商標です。

© 2024 SmartPractice Japan, Inc. All Rights Reserved.

24MKT-004 OCT 2024